

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	氷見市		代表者名	氷見市長 林 正之	
担当者部署	秘書広報課デジタル化推進班		連絡先電話番号	0766-74-8201	
担当者役職	班長	担当者氏名	西中 修	連絡先E-mail	
住所	935-8686 富山県氷見市鞍川1060番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	廣川 聡美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	ご自身の自治体職員の経験等も踏まえ、最新の情報を分かりやすく説明して下さいました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年12月25日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			15時00分	17時15分	10
			活動時間（分）	125	
3-2. 派遣場所	会場名	氷見市役所	最寄駅	JR氷見駅	
	所在地	富山県氷見市鞍川1060番地	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	事務の効率化や行政サービスの充実にデジタル技術を活用していかなければならないなかで、職員に対しこれらに関する意識醸成が十分に図られていないことが課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	デジタル化についての重要性を全職員が共有することで、各課においてデジタル技術を活用した事業に積極的に取り組むことを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	自治体DXが目指すものについての、国の施策や具体的な取り組み事例等を踏まえた講演	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	デジタル化に対する必要性・重要性や進め方について全職員で共有することで、全体意識の底上げが図られた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回受講できなかった職員に対するフォロー	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演内容に対し適切な質問項目が見当たらなかったため、アンケートは実施していない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		
<p>なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		